

TBK社長

尾方馨氏

11 輪機応変

サプライヤーの
レジリエンス

—半導体不足による
トラックメーカーの減
産やエネルギー高など
で事業環境が厳しさを
増しています。
「2022年は中国
のロックダウン（都市
封鎖）の影響などを受
直しも進めている」



投資で済ませたい。材
料高の影響を抑えるた
だで、調達する地域の見
直しも進めている」

売上高電動化関連で上積み

—注力する電動化関
連の売り上げ目標は、
「25年3月期に売上
高を600億円まで高
める。22年3月期の売
上高が500億円超な
い」とあります。

—取り組みの状況
は。

「電動駆動ユニット
や熱マネジメントシステムなどを開発中だ。
電動化関連で既に採用
が決まった製品もあり
C トラック向けに補

助ブレーキであるリタ
ーダーを供給してい
る。タイの企業向けに
は交換式電池のケース
を手がけている。電動
2輪車用のアルミニウ
ム製パッテリーケース
で、電池の組み立てま
す。

海外企業との連携力ギに

記者の目

内燃機関搭載車の生産台
数の鈍化が予想される中
で、新たな収益源としてマ
イルドハイブリッドを含めた電動車向
け製品の育成にも力を入れている。関
連投資を上積みし、先行者利益の獲得
を狙っている。今後、電動化関連製品の
開発・展開を加速する上で、先進の海
外企業との連携がカギになりそうだ。
(石川雅基)

感じ取れなくなる可能
性もあるので、ブレー
クの異常検知システムを開発して、キ
ーにセンサーを取り付
いて、自動運転になる
とドライバーが異常を
握りきるようにする」